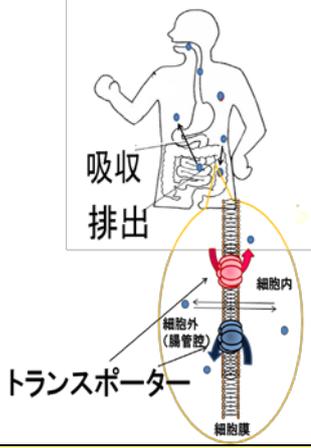


整理番号	HT25057	分野	医歯薬学	(キーワード)トランスポーター
------	---------	----	------	-----------------

高崎健康福祉大学

薬の運び屋トランスポーター～その働きを培養細胞で観察しよう～

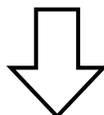
先生(代表者)	荻原 琢男(おぎはら たくお) 薬学部・教授			
自己紹介	大学では有機化学を学び、製薬企業では薬の種を作りだす研究をしていました。現在は、薬の体内吸収に関する研究を行っています。趣味は外ではラグビー、内ではフルーツ。最近はおっぱら週末バイクおやじです。			
開催日時・ 主な募集対象	平成 25 年 8 月 9 日(金)	(対象)	高校生	(人数) 20 名
集合場所・時間	高崎健康福祉大学 7号館 薬学部受付前	(集合時間)	9:30-10:00	
開催会場 (集合場所)	高崎健康福祉大学 7号館 薬学部 2階 生物薬剤学研究室 住所: 〒370-0033 群馬県高崎市中大類町 60 アクセスマップ: http://www.takasaki-u.ac.jp/general_info/access/index.html			
内 容				
<p>薬の運び屋トランスポーター～その働きを培養細胞で観察しよう～</p> <p>生体に必須な栄養はどのようにして体内に取り込まれるのでしょうか？ 逆に、生体に有害な物質はどのようにして体外に排出されるのでしょうか？ これらの役割の一部を担っているのが生体特異的な輸送機構であるトランスポーターです。我々のプログラムでは、掃きだしトランスポーターのひとつである P-糖タンパクを発現する細胞を用いて、その機能を実験により調べます。そしてトランスポーターと病気やがん多剤耐性との関係、さらには理想的な薬を開発するために、この研究をどのように発展させるべきなのかを学びたいと思います。</p>				
スケジュール			持 ち 物	
9:30-10:00 受付・開場(7号館薬学部 受付前集合) 10:00-10:30 挨拶・スケジュール説明・科研費の説明 10:30-11:30 講義「トランスポーターの生理的役割」(途中 10 分休憩) 11:30-12:00 実習内容についての説明 12:00-13:00 昼食 13:00-15:10 実習 1「培養細胞の観察」、実習 2前半「培養細胞を用いたトランスポーターの働きを観察」(途中 10 分休憩) 15:10-16:10 実習 2後半「培養細胞を用いたトランスポーターの働きを観察(阻害剤)」(途中 10 分休憩) 16:10-16:40 実験内容と結果についての解説 16:40-17:30 クッキータイム・フリートーク後、アンケート記入・未来博士号授与と修了式 17:30 終了・解散			筆記用具 動きやすい靴、服装でご参加下さい。	
			特 記 事 項	
			遠方から来る等の理由で、帰りが遅くなるのが想定される場合は、予め保護者の同伴をお願い致します。	

《お問い合わせ・お申し込み先》

所属・氏名：	高崎健康福祉大学 生物薬剤学研究室 矢野 健太郎
住所：	群馬県高崎市中大類町 60
TEL 番号：	027-352-1180
FAX 番号：	027-352-1118
E-mail：	yano-k@takasaki-u.ac.jp
申込締切日：	平成 25 年 8 月 7 日(水)

《プログラムのテーマと関係する科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
荻原 琢男	H24-H26	基盤研究(C)	24590667	排出系トランスポーター群の翻訳後共通因子を標的とするがん多剤耐性克服手法の構築



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。